

広報ただみ診療所

朝日診療所
医師 山内 健士朗



「退任の挨拶」

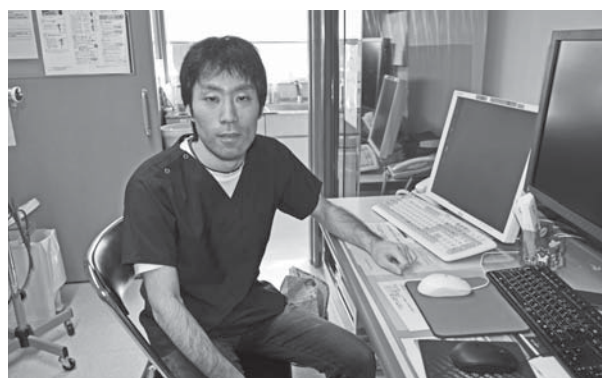
皆さんこんにちは。今年の寒さもそろそろ穏やかになってきましたが、昨年と比べて雪も多く、本物の只見の冬を経験させていただきました。今回は恐縮ながら、自分の退任の挨拶をさせていただきます。ありがとうございます。

4月から私は相馬市へ移動となり、3月いっぱいだけ只見町を去ることとなりました。福島に来て4年になりますが、この只見町に住み診療所を中心にして皆さんと関わることができて大変嬉しく思っています。多くのことを経験、勉強させていただきました。迷惑をかけたこともあるとは思いますが、温かく迎えてくださった皆様に心から感謝いたします。

今度の赴任先はだいぶ遠方になりますが、同じ県内にいるのでまた遊びに来ることもあると

思います。

最後になりますが、皆さん、お身体にお気をつけて元気にお過ごしください。2年間お付き合いいただき、誠にありがとうございました。また、皆様と元気にお会いできるのを楽しみにしております。



▲2年間町の医療を支えた山内健士朗先生

地域おこし協力隊として vol.28

空き家活用促進隊
大竹 康平



「大学休んで只見に住んでみた」

4月に越してきてから、あっという間に1年が経とうとしている。明和振興センターに勤め、集落の名前や人を覚えながら、空き家を調べた。役場で働くのは初めてだし、布沢しか知らないし、難しかった。そしてついに「空き家バンク」のホームページが動き出しそうだ。

冬は雪が多かったが、それもまた風情があって良い。只見の人たちは「雪が降らなきゃいいとこなんだがや〜」と言う。「雪すげえべ?」と何度訊かれたことか。けど、「雪が降らなきゃ只見じゃない」ってみなさんが思っていることも私は知っている。

「たくさんまわる、話す、食べる、笑う」という

スローガンの下、目標の「空き家バンク設置」と「友達1,000人」はどちらも達成できた。只見は自然も、文化も、食べ物も、人も素晴らしいが、「友達がいっぱいいる只見」をますます好きになった。

私みたいなよそ者がこれからたくさん来るかもしれないけど、只見を作るのは只見の人たち。既に活動している人も、これから立ち上がる人も、あんまりやっちゃくねえ人も、少しずつ少しずつ、すばらしい只見を護り、そして「新たな只見」も作り上げていってほしい。

4月から大学生。これからは遊びにくっから、声かけてけやれ!